心の芯を鍛える取組

～体験活動を基に、やる気・本気・元気を！～

平成24年度 深谷市立豊里中学校

豊里中学校教育目標

知恵

○自ら進んで学習する生徒

心

○正しい判断力を持った生徒
○明るく思いやりのある生徒

体

○強くたくましい生徒

心の心を鍛える取組

目指す生徒像

- 一生懸命に学習する生徒
- 親切で思いやりのある生徒
- けじめのある、たくましい生徒
- 規範意識を持つ生徒

知恵 「やる気」にさせる取組 学力の向上

①学習規律の確立と②学業指導の継続

- ▼よく聞き、よく書き、よく考え、よく話す
- ▼授業開始時、終了時のあいさつ
- ▼学習の目標と意欲 ・授業改善
- ▼時間厳守 ・短学活の活用
- ▼自習時間の活用 ・朝読書
- ▼繰り返し学習と家庭学習の習慣化 等

学習規律の徹底

- ・豊里中授業の受け方
- ・豊里中学校区「学習規律」
- ・各教科での学習ルール
- ・朝読書のルール
- ・家庭学習1日1ページ以上
- ・補充学習やステップ・アップL
- ・「できた喜び」を与えるテスト

③個に応じた指導と④基礎基本の定着

- ▼少人数指導 ・体験的学習・問題解決学習
- ▼コンピュータの活用・教育機器の活用
- ▼図書室の活用 ・学びの習得
- ▼特別教室を生かした指導等 ・学びの深まり

学習への動機付け

- ・個を生かす指導工夫
- ・学ぶ喜びを教える工夫
- ・教育機器による学習効果
- ・学習環境の有効活用
- ・学び合い学習

⑤評価の工夫・改善と⑥学習意欲の喚起

- ▼多面的生徒理解 ・観点別評価
- ▼自己評価 ・相互評価 ・形成的評価
- ・絶対評価の信頼と理解 等

学習意欲の喚起

- ・評価を生かす指導工夫
- ・つまづきや疑問を克服する
手立てと見届け
- ・定期テストの工夫改善
- ・繰り返し学習の導入

心 「本気」にさせる取組

規範意識の向上

①道徳心の涵養と②道徳的実践力

- ▼心のノート活用・ころざし読本活用
- ▼道徳教材の充実と計画的指導
- ▼学級講話 ・朝礼講話
- ▼環境への愛護 ・福祉活動・文化活動
  - ・人権週間 ・給食週間 ・学校美化
  - ・掲示教育 等

人としての生き方

- ・考えさせる授業の推進
- ・いじめや暴力をしない、させない心の育成
- ・人の強さ弱さを知る機会
- ・「生きること」に正対させる場の設定
- ・多くの活動を通じた人格形成の推進

③生徒を支援する教育相談と④生徒指導

- ▼不登校生徒 ・課題を持つ生徒の理解
- ▼家庭訪問・学校相談員との連携 ・関係機関との連携 ・組織での取組と共通理解 等

自己理解への支援

- ・孤立感疎外感の除去
- ・「生きること」へのアドバイス
- ・「つまづきや不安」への共感
- ・会話による自己発見の推進
- ・認めてくれる大人の認識

⑤社会性の育成

- ▼地域社会との関わり ・社会体験チャレンジ
  - ・地域ボランティア(伝統芸能・体育行事等)
  - ・保幼中交流 ・祖父母参観等

可能性を引き出す

- ・自ら試みる場の設定
- ・失敗を良い経験に繋げる計画実践
- ・自己肯定感を持たせる場

体 「元気」にさせる取組

体力の向上

①体力向上と②心身の健康

- ▼ 体育行事・校外行事・集団行動
- ▼ 保健指導・健康指導・給食指導
- ▼ 安全教育と安全管理・通学路点検

③保健室運営 等

- ▼ 保健衛生活動 ・保健委員会
- ▼ 各種保健調査 ・むし歯 ・体位測定
  - ・食育 ・アレルギー ・睡眠 等
- ▼ 健康の維持増進活動
  - ・早寝早起き朝ご飯の推進
  - ・手洗い, うがいの励行 ・学校保健委員会

④部活動 等

- ▼ 心身ともに健康な生徒育成
  - ・基礎体力づくりと専門競技の強化
  - ・練習メニューや試合による心の鍛錬

体力向上の動機付け

- ・保健体育科授業の充実
- ・充実感を持たせる学校行事
- ・理論と実践を踏まえた各種活動の工夫
- ・危険意識の高揚と対応力

健康づくり

- ・組織活動による啓発
- ・自分自身を振り返り、これからの生活を見直す
- ・強い体づくりの学習
- ・家庭での協力

部活動による体力向上

- ・個を生かす指導工夫
- ・学ぶ喜びを教える工夫
- ・教育機器による効果
- ・学習環境の有効活用

知恵

心

体

教師の
想い

目指す生徒像

やる気

本気

保護者の
願い

元気

◆心の芯を鍛える事の大切さを示す文章から

人間は、いつの時代もたのもしい人格を持たなければならぬ。人間は、男女とも、たのもしくない人格にみりよくを感じないのである。

もう一度くり返そう。さきに私は自己を確立せよ、と言った。自分にきびしく。相手にやさしく、とも言った。

それらを訓練することで、自己が確立されていくのである。そして、"たのもしい君たち"になつていくのである。

以上のことは、いつの時代になつても、人間が生きていくうえで、欠かすことのできない心がまえというものである。

* 司馬遼太郎著「二十一世紀に生きる君たちへ」より